



ジュニアリーダーが薪割りをしてスモアーズの準備



キャンプファイアーを見つめる参加者の子どもたち



今年のキャンプTシャツを着て、大房岬の海を背に記念写真



新人リーダー研修会で山中湖センターに集った若者たち

千葉 YMCA ニュースボード

2019年10月1日 第246号

www.ymcajapan.org/chiba/

夏の活動参加、昨年の25%増

今年の夏キャンプ・特別プログラムは多くの参加者に恵まれました。

昨年は7つのキャンプ定員合計280名に対して参加252名(充足率90%)、今年は8つのキャンプ定員合計320名に対して参加326名(充足率102%)でした。中学生のジュニアリーダー14名が3つのキャンプに参加し、大活躍しました。(写真上段2枚と下段左)

特別プログラム「英語 de デイスクール」は昨年8回実施で参加192名でしたが、今年は12回実施で参加233名に増えました。

ほか含め、概算で昨年の1.25倍の規模の実績を残したことになります。市立小学校108校にチラシを配布したこと、ウェブ受け付けを始めたことがこの成果を生んだと言えます。

例年のようにICCPJ(国際キャンプカウンセラー研修)で、台湾からの研修生2名を千葉で受け入れました。彼女たちは少年自然の家で研修し、「はじめのいっぽ」キャンプに参加するなどして国際交流に努めました。

◆新人リーダー研修会へ2名派遣

9月6～8日東京YMCA山中湖センターで行われた「ユースボランティアリーダーズフォーラム」(新人リーダーの研修会)に、東日本各地のYMCAから経験年数1、2年のリーダー40名が参加し、研修と交流の時を共にしました。千葉からも2名のリーダーと、スポンサーとしてワイズメンズクラブ会員1名が参加しました。(写真下段右)

◆キャンプソングを歌う会

9月7日午後、千葉センターで、キャンプソングを歌う会を開きました。懐かしい歌、新しい歌をたくさん歌いました。

12月14日(土)午後、同じく千葉センターで、クリスマスソングを歌う会を予定しています。どうぞおいでください。2時-4時、無料です。

◆インターナショナル・チャリティラン

10月12日(土) 船橋市運動公園で開催するミニ駅伝大会です(9時半-14時)。案内パンフレット参照。イベントの趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。当日は会場での種々のボランティアが必要です。地域の方々と一緒に楽しい一日を作りましょう。

本ランの収益により、11月に、障がいのある子たちを招待する「ほっこり、にっこり、わんぱくキャンプ」を行います。

◆少年自然の家「秋わい」10月27日

千葉市少年自然の家では、例年のように10月最終日曜27日に収穫祭「秋のわいわいフェスティバル」(略称秋わい)を開催します。収穫体験、地元長柄町の産物の直売、近隣の団体の演奏やダンス出演など、秋空のもとで賑やかな掛け声が交わされます。

YMCA会員の出すフリーマーケットやカフェもあります。どうぞお出かけください。10時～15時、入場無料。

(先日の台風15号により、少年自然の家も停電となり、1週間の業務停止を余儀なくされました。15日に復旧しました。)

◆市民クリスマス in 千葉(12月7日)

千葉市民会館大ホールで、午後2時～4時。カトリック児童の合唱、西岡牧師のクリスマスメッセージ、福音歌手森祐理のジョイフルコンサートがあります。(入場無料。席上献金あり、その一部を被災地支援に送ります。)

このイベントの事務局を千葉YMCAが務めています。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

0475-35-1131

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp